

第30回長野県フィギュアスケート選手権大会

1. 主催 長野県スケート連盟
2. 主管 長野県フィギュア委員会
3. 期日 平成24年3月11日(日)午前14時00分開会式午後15時00分競技開始
※参加人数により変更することがある
4. 会場 Mウェーブ
5. 競技規定 I.S.U.及び日本スケート連盟の競技規定による
6. 競技種目 男女ともシングルスケート
7. 参加資格 別紙のとおり
8. 表彰 (1)選手権クラス1位の者に優勝杯、メダル及び賞状、2位から3位にメダル及び賞状、4位から6位に賞状を授与する
(2)他各クラス1位から3位に賞状及びメダル、4位から6位に賞状を授与する
9. 参加申込 所定の申込用紙に必要事項記入のうえ、参加料(必ず現金書留)を添えて期日までに申し込むこと
(1)申込締切日 平成24年2月24日(金)必着
(2)申込み先 〒380-0911長野市稲葉575-2山崎弘雄TEL090-2670-4093FAX026-221-2230
(3)参加料 1人5,000円
10. その他 (1)フィギュアバッチテスト級を確認できるものを開会式に持参すること

【競技課題】

性別	クラス	参加資格	時間	課題
男子	選手権	7級以上	4分30秒	I S Uシニア課題
	ジュニア選手権	5級以上	4分00秒	I S Uジュニア課題
	4級クラス	4級	3分30秒	全日本ノービスA課題
女子	選手権	7級以上	4分00秒	I S Uシニア課題
	ジュニア選手権	6級以上	3分30秒	I S Uジュニア課題
	5級クラス	5級	3分00秒	全日本ノービスA課題
	4級クラス	4級	3分00秒	全日本ノービスA課題
男女	3級クラス	3級	2分	別記1
	2級クラス	2級	2分	別記1
	1級クラス	1級	1分	別記2
	初級クラス	初級	1分	別記3
	無級クラス	無級	1分	6, 0で採点

採点方法はI S Uジャッジング・システム

※フリー・プログラムの演技時間は±10秒

競技課題の内容 (No. 1)

バランスのとれたノービス A プログラム

演技時間 男子 3分 30秒 女子 3分 (±10 秒間)

	男子	女子
ジャンプ	最大 7 個	最大 6 個
	第一ジャンプとして、アクセル系ジャンプ、ルッツ・ジャンプ、フリップ・ジャンプ、ループ・ジャンプの 4 種類を含む	
	ただし、アクセル系ジャンプは (単独でも、コンビネーションあるいはシーケンスの一部としても) 2 回まで	
	ダブル・アクセル、トリプル、クワドの 2 種類のみ、 コンビネーションあるいは、シーケンスで繰り返し可能	
	ジャンプ・コンビネーション、ジャンプ・シーケンスは 3 つまで可能	
	ジャンプ・コンビネーションのうち 1 つだけ 3 個のジャンプ可能	
スピン ※1	異なった種類 3	
	フライング・スピン 足換え無し 姿勢変更無し 最小 6 回転	
	キャメルまたはシット・スピン フライング・スピンのランディング・ ポジションとは異なるもの。 足換えの回数は任意	レイバック・スピン (足換え無し)
	フライングの入りは不可、最少 6 回転	
	スピン・コンビネーション フライングの入りは不可、足換えは任意 最小 10 回転)	
ステップ	1 種類のステップ・シーケンス	

※ 1 ポジションと認めてもらうには 2 回転以上必要

バランスのとれたノービス B プログラム

演技時間 男子 3分 女子 2分 30秒 (±10 秒間)

	男子	女子
ジャンプ	最大 6 個	最大 5 個
	第一ジャンプとして、アクセル系ジャンプ、ルッツ・ジャンプ、フリップ・ジャンプの 3 種類を含む	
	ただし、アクセル系ジャンプは (単独でも、コンビネーションあるいはシーケンスの一部としても) 2 回まで	
	ダブル・アクセル、トリプル、クワドの 2 種類のみ、 コンビネーションあるいは、シーケンスで繰り返し可能	
	ジャンプ・コンビネーション、ジャンプ・シーケンスは 2 つまで可能	
	ジャンプ・コンビネーションのうち 1 つだけ 3 個のジャンプ可能	
スピン ※1	異なった種類 3	
	フライング・スピン 足換え無し 姿勢変更無し 最小 6 回転	
	キャメルまたはシット・スピン フライング・スピンのランディング・ ポジションとは異なるもの。 足換えの回数は任意	レイバック・スピン (足換え無し)
	フライングの入りは不可、最少 6 回転	
	スピン・コンビネーション フライングの入りは不可、足換えは任意 最小 10 回転)	
ステップ	1 種類のステップ・シーケンス	スパイラル・シーケンス ※2

※ 1 ポジションと認めてもらうには 2 回転以上必要

※ 2 スパイラル姿勢が 2 つ以上の場合には 3 秒間、1 つの場合には 6 秒間保時されること

以上の条件を満たさない場合は無価値となる。レベルはフィックス、GOEのみで評価される

日本スケート連盟 2011-2012 ノービス課題

フリー・スケATING

ノービス A 課題

演技時間： 女子は 3 分間、男子は 3 分 30 秒間（±10 秒間）

構成内容：

a) 女子では最大 6 つのジャンプ要素、男子では最大 7 つのジャンプ要素。

但し、上記ジャンプ要素の中にアクセル型ジャンプ、ルッツ・ジャンプ、フリップ・ジャンプ、ループ・ジャンプの計 4 種類のジャンプを、単独のジャンプあるいはコンビネーションまたはシーケンスの第一ジャンプとして、含まなければならない。（これらのジャンプは、ジャンプ・コンビネーション、またはジャンプ・シーケンスの中を含むことを妨げない）

また、アクセル型ジャンプはジャンプ・コンビネーション、ジャンプ・シーケンスを含め、計 2 回までとする。

男女とも 3 つまでのジャンプ・コンビネーションまたはジャンプ・シーケンスを含んでよい。ジャンプ・コンビネーションの中の 1 つは、3 個のジャンプを含むことができる。ジャンプ・シーケンスは構成するジャンプの数は自由であるが、最も難しい 2 つのジャンプのみが評価される。2 回転半あるいは 3 回転ジャンプは、2 種類のみを、ジャンプ・コンビネーションあるいはジャンプ・シーケンスの中で繰り返すことができる。

b) 最大 3 つの異なるスピンを含まなければならない。その内、

1 つはフライング・スピン（足換え無し、姿勢変更無し）（最小 6 回転）。

1 つは一姿勢のみのスピン。女子はレイバック姿勢（足換え無し、フライングからの入りは不可）（最小 6 回転）。男子は、キャメル姿勢またはシット姿勢（足換えの回数は任意、フライングからの入りは不可）（最小 6 回転）。

1 つはスピン・コンビネーション（足換えの回数は任意）（最小 10 回転）。

但し、フライング・スピンと一姿勢のみのスピンは異なるベーシックポジションで行うこと。

c) 男女とも、ステップ・シーケンスを最大 1 つ。

※スパイラル・シーケンスが含まれている場合、テクニカル・パネルは無視する。ジャッジはプログラム・コンポーネンツの採点項目の中で評価を行う。

ノービス B 課題

演技時間： 女子は 2 分 30 秒間、男子は 3 分間（±10 秒間）

構成内容：

a) 女子では最大 5 つのジャンプ要素、男子では最大 6 つのジャンプ要素。

但し、上記ジャンプ要素の中にアクセル型ジャンプ、ルッツ・ジャンプ、フリップ・ジャンプの計 3 種類のジャンプを、単独のジャンプあるいはコンビネーションまたはシーケンスの第一ジャンプとして、含まなければならない。（これらのジャンプは、ジャンプ・コンビネーション、またはジャンプ・シーケンスの中を含むことを妨げない）

また、アクセル型ジャンプはジャンプ・コンビネーション、ジャンプ・シーケンスを含め、計 2 回までとする。

男女とも 2 つまでのジャンプ・コンビネーションまたはジャンプ・シーケンスを含んでよい。ジャンプ・コンビネーションの中の 1 つは、3 個のジャンプを含むことができる。ジャンプ・シーケンスは構成するジャンプの数は自由であるが、最も難しい 2 つのジャンプのみが評価される。2 回転半あるいは 3 回転ジャンプは、2 種類のみを、ジャンプ・コンビネーションあるいはジャンプ・シーケンスの中で繰り返すことができる。

b) 最大 3 つの異なるスピンを含まなければならない。その内、

1 つはフライング・スピン（足換え無し、姿勢変更無し）（最小 6 回転）。

1 つは一姿勢のみのスピン。女子はレイバック姿勢（足換え無し、フライングからの入りは不可）（最小 6 回転）。男子は、キャメル姿勢またはシット姿勢（足換えの回数は任意、フライングからの入りは不可）（最小 6 回転）。

1 つはスピン・コンビネーション（足換えの回数は任意）（最小 10 回転）。

但し、フライング・スピンと一姿勢のみのスピンは異なるベーシックポジションで行うこと。

- c) 女子は、コレオ・スパイラルを最大一つ。(採点:コレオスパイラルと認定します)
男子は、ステップ・シーケンスを最大1つ。(コレオ・ステップと認定します)

減点について：

転倒の減点は0.5点とする。

附則 ISU Comm. 1445の発表を受け、異なるスピンの説明を明確にした。(2007年5月27日)

附則 規程2008でのジュニアFSの要素数の変更を受け、ノービスAの要素数を削減した。(2008年7月21日)

附則 ISU Comm. 1397のスピンの規定と矛盾しないように変更した。(2009年5月9日)

附則 ノービス世代の選手育成の観点から、ウェルバランス、および転倒の減点を変更した。(2010年5月8日)

附則 ノービスB女子のスパイラル・シーケンスをコレオスパイラルと認定する(2010年7月16日)

附則 ノービスB男子のステップ・シーケンスをコレオステップと認定する(2011年5月14日)

補足 キックアウトの定義

・必須ジャンプの種類が不足する場合には、最後に実施されたジャンプ要素をキックアウトする。もしも、その結果として他の種類の必須ジャンプが不足することになる場合には、最後のジャンプ要素ではなく、その1つ前のジャンプ要素をキックアウトする。以下、同様。

競技課題の内容 (No. 2)

【別記1】 2級クラス PCS (SS, PE, IN) ファクター: 1.8 (全 PC 共通) 転倒: -0.2

(演技時間 2分±10秒)

バランスの良いフリー・プログラムに含まれる要素

a) ジャンプ要素 最大4個

ジャン2個で構成されるジャンプ・コンビネーションまたはジャンプ・シークエンスを2回含むことが出来る。第一ジャンプは異なった4種類を含むこと。(回転数が異なっても同じ種類とする)

内1つはアクセル型ジャンプでなければならない。但し、同じ種類のジャンプは2個まで(回転数が異なっても同じ種類とする)

b) スピン要素 異なった2種類を2個 (レベルは認定)

1つは1ポジションのスピンの(基本姿勢で5回転以上)

1つはスピン・コンビネーションのスピンの(足換えが無い場合は5回転以上、足換えがある場合は、

合計10回転以上)

c) ステップ要素 1種類のステップ・シークエンス レベル1で評価をする。

氷面を十分に利用したステップ・シークエンス(ストレートライン・サーキュラー・サーペントラインのいずれか)

【別記2】 1級クラス PCS (SS, PE, IN) ファクター: 1.5 (全 PC 共通) 転倒: -0.2

(演技時間 1分±10秒)

バランスの良いフリー・プログラムに含まれる要素

a) ジャンプ要素 最大4

ジャン2個で構成されるジャンプ・コンビネーションまたはジャンプ・シークエンスを1回含むことが出来る。第一ジャンプは異なった4種類(回転数が異なっても同じ種類とする)

b) スピン要素 最大1個

1ポジションのスピンの(基本姿勢で5回転以上) レベル1で評価する。

c) ステップ要素 1種類のステップ・シークエンス

シークエンスの長さは1/2以上、但し、要素として認定をしない。プログラム構成点で評価する。

【別記3】 初級以下クラス PCS (SS, PE, IN) ファクター: 1.5 (全 PC 共通) 転倒: -0.2

(演技時間 1分±10秒)

バランスの良いフリー・プログラムに含まれる要素

a) ジャンプ要素 最大4

ジャン2個で構成されるジャンプ・コンビネーションまたはジャンプ・シークエンスを1回含むことが出来る。第一ジャンプは異なった4種類(回転数が異なっても同じ種類とする)

ワルツ・ジャンプ可

b) スピン要素 最大1個

1ポジションのスピンの(基本姿勢で5回転以上) レベル1で評価する。

競技課題の内容 (No. 3)

【フリー・スケATINGの減点について】

- ① □ 転倒は1回につき 1.0 減点される。但し、ノービス課題は0.5、2級以下のクラスの減点は0.2点とする。
- ② 滑走時間の過不足は規定時間の過不足5秒ごとに1.0が減点される。

その他

- ※1 規定されている最大ジャンプ数のうち、第一ジャンプが重複したものは無価値となる。
(2級以下クラス)
- ※2 スピンと認められるには3回転以上が必要、3回転未満は無価値となる。
- ※3 ジャンプは回転不足が1/4回転より大きい、1/2回転未満の場合はUnder-rotated “<”、1/2回転以上の場合はDowngraded “<<”となる。
- ※4 シングル・アクセル・ジャンプのダウングレードは無価値となる。(ワルツジャンプとは異なる)
- ※5 プログラム・コンポーネンツの係数 (ノービスクラス)
男子は2.0、女子1.6
- ※6 初級・1級・2級クラスにおいては、後半に開始されるジャンプ要素の基礎値(GOEの値ではない)に対する1.1倍は考慮しない。